

市民意向調査の結果（概要）

（１）実施概要

1. アンケート調査

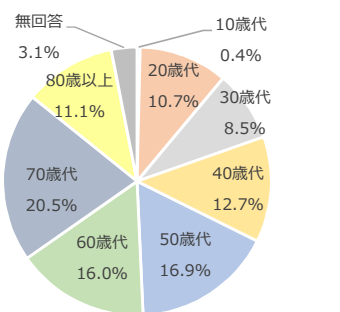
調査対象者	住民基本台帳から18歳以上の市民1,500人を無作為抽出 【別途調査(Web)】 広報（市広報、市公式HPなど）による募集 【別途調査(小中学生)】 市内の小学5年生～中学3年生
回答数	550票（回収率36.6%） 【別途調査(Web)】 710票（Webアンケート形式） 【別途調査(小中学生)】 1,172票（Webアンケート形式）
調査期間	令和6年9月16日～10月2日 【別途調査(Web)】 令和6年9月27日～10月28日 【別途調査(小中学生)】 令和6年9月20日～10月18日

2. グループインタビュー

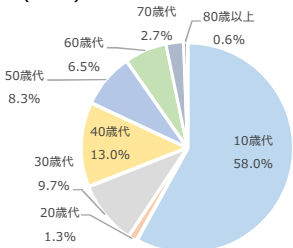
調査対象者	市に関係する各分野の団体・グループ 56団体（依頼数146団体） ※商業、観光、工業、農林水産業、地域活動関係者、子育て関係団体等
調査方法	郵送配布・回収（回答はWebを併用）、Web形式
調査期間	令和6年10月1日～11月11日

（２）回答者の属性

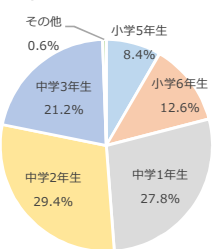
■年齢・属性等（アンケート調査）



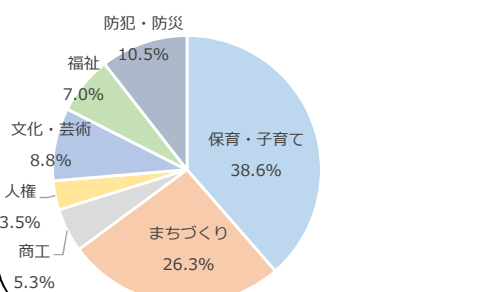
【別途調査(Web)】



【別途調査(小中学生)】



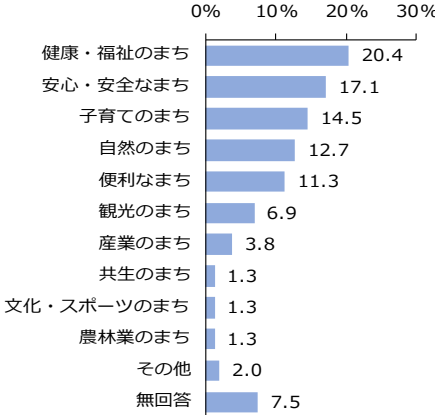
■回答団体の属性（グループインタビュー）



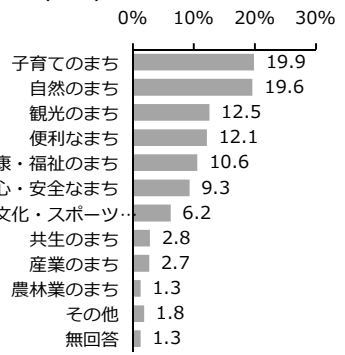
（３）主な回答（アンケート調査）

【資料3】

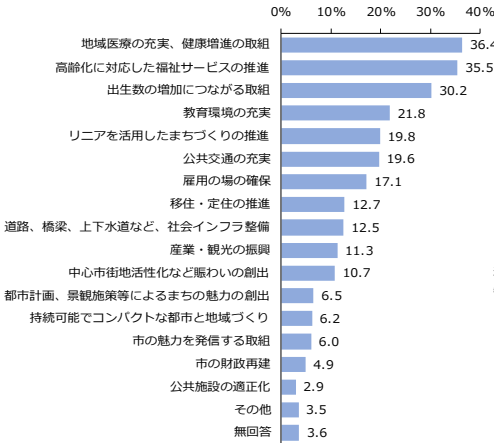
■市のイメージとして望ましいもの



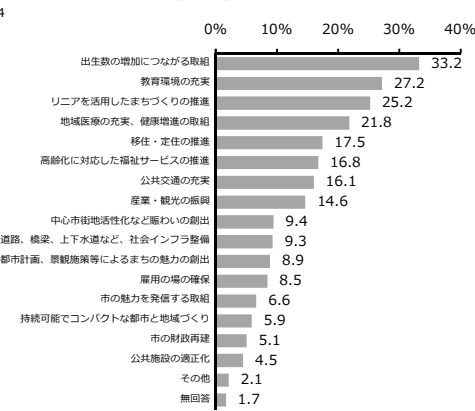
【別途調査(Web)】



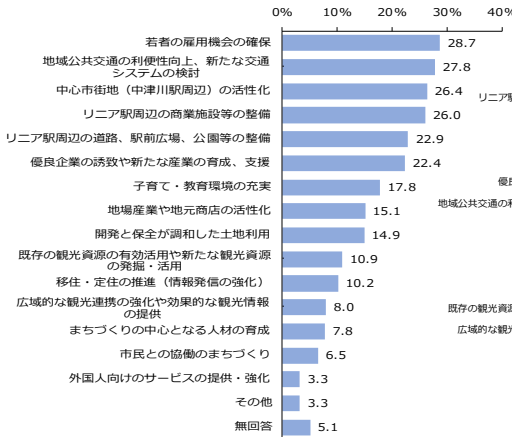
■優先して取り組むべき課題



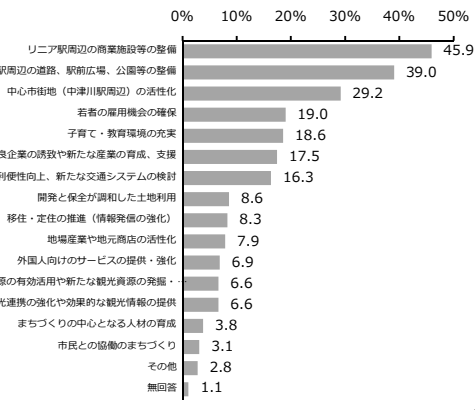
【別途調査(Web)】



■リニアを活用したまちづくりを進めるために重要なこと

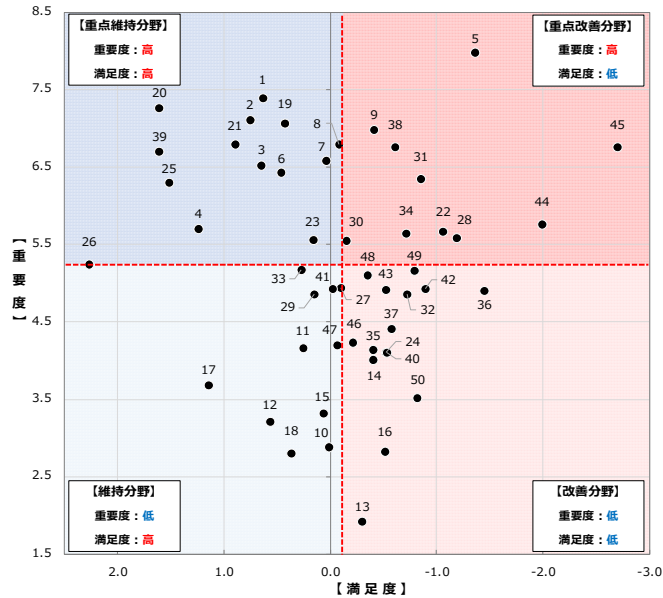


【別途調査(Web)】



(4) 施策の満足度、今後の重要性

【アンケート調査】



平均	満足度	-0.1
	重要性	5.25

分野			選択項目		
子育て・教育	子育て・教育		1. 子育て支援の推進	環境	23. 自然環境の保全
			2. 学校教育の推進		24. 再生可能エネルギー・新エネルギー導入の推進
			3. 幼児教育の推進		25. ごみ対策の充実
健康・福祉	健康・福祉		4. 健康づくりの推進	生活環境	26. し尿収集・処理の充実
			5. 地域医療の充実		27. 生活環境保全の推進（斎場・墓地の整備等）
			6. 児童福祉の充実		28. 商業の振興
			7. 障がい者福祉の充実		29. 工業の振興
			8. 高齢者福祉の充実		30. 地場産業の振興
人権・協働・定住	人権・共生社会		9. 社会保障の充実	産業	31. 雇用対策の充実
			10. 多様性の尊重・多文化共生の推進		32. 企業誘致の推進
			11. 人権教育の推進		33. 観光の振興
	協働・コミュニティ		12. 協働・市民活動・コミュニティ活動の充実		34. 農業の振興
			13. 国際交流の充実		35. 畜産の振興
生涯学習・文化・スポーツ	生涯学習・社会人教育		14. 移住・定住の促進	農林業	36. 鳥獣害対策の充実
			15. 生涯学習の充実		37. 林業の振興
			16. 社会人の学び直しの充実		38. 道路、橋梁の整備・維持管理
	文化・スポーツ		17. 歴史・文化、伝統芸能の保全・伝承・利活用		39. 上下水道の整備・維持管理
			18. スポーツの振興		40. リニアを活かす基盤整備
防災・防犯	防災・防犯		19. 防災・減災対策の充実	基盤整備	41. 良好な街並み・景観の整備
			20. 消防・救急体制の充実		42. 計画的な都市整備の推進
			21. 防犯・交通安全対策の充実		43. 公園・緑地の整備・維持管理
			22. 消費生活対策の充実		44. 居住環境の整備（住宅改修補助、空き家対策など）
行政運営	行政運営				45. 公共交通機関の整備・充実
				行政運営	46. 情報発信の強化
					47. 公共施設の適正化の推進
					48. 行政サービスの向上・適正化
					49. 効率的な財政運営の推進
					50. デジタル化の推進

(5) 市民アンケート意見・分析

肯定的	○豊かな自然、治安の良さ、歴史文化の豊かさが、市の強みとして認識されている。 ○市内には13地区あるが、それぞれに地域性が色濃くある。 ○人のやさしさ、温かさ、親切さが、本市に住んでよかった理由の上位に位置している。 ○住んでよかったと思うことには、郵送調査では「自然が豊か」「人のやさしさ、温かさ、親切」「災害が少ない」に関する意見が、Web回答では「自然が豊か」「人のやさしさ、温かさ、親切」「便利で住みやすい」に関する意見が多く、小中学生では自然に関するエピソードが多い。
否定的	○市内には多くの魅力があるものの、それを生かし切れていないと感じている。 ○若者は、地元への愛着や、居住や暮らしに関する満足度が、中高年と比較して低い傾向がある。 ○若者は、商業施設や遊ぶ場所が不足していることについての満足度が低い。 ○買い物、通勤通学、雇用において、市での生活に満足度が低い。 ○小中学生が「中津川市以外どこに住みたい」と考える理由は、「買い物や遊ぶ場所が少ないから」「いろんな経験をしてみたいから」「やってみたいことや自分に合う仕事ができないように思うから」「他のまちに住んでみたいから」という意見が多い。
求められている事項	○人口減少問題を強く意識している。 ○公共交通機関の整備と充実が強く求められている。 ○地域医療の充実が重要視されている。 ○中高年にとっては、地域医療や高齢者福祉を充実させること、全体としては、出生数を増加させること、教育を充実させること、リニアを活かしたまちづくりが、優先して取り組むべき課題であると考えられている。 ○まちの発展や市民の暮らしを豊かにするための意見や提案では、郵送調査では「商工業」「子育て・教育」「健康・福祉」「都市計画・整備」「行政運営」に関する意見が多く、Web回答では「商工業」「健康・福祉」「都市計画・整備」「基盤整備」「子育て・教育」に関する意見が多い。

(6) グループインタビュー意見

肯定的	○以下の意見が出された。 ・森林・清流などの自然資源がある ・伝統芸能などの歴史・文化資源がある ・特産物である栗の知名度が高い ・大規模な製造業が集積している ・リニアに期待できる ・観光資源が多い ・住民同士の相互扶助が残っている ○満足する施策として、「18歳までの子供の医療費無料」、「生活応援商品券の発行」、「リニアのまちづくり」が挙げられている
否定的	○以下の否定的な意見が出された。 ・行政運営に関して、新規分野への取組が停滞している ・市が目指すビジョンが伝わっていない ・公共交通機関（バスやタクシーなど）が不足している ・市としての一体感がない（旧町村の意識） ・商業施設が不足している ・若年層の流出と高齢化による地域活力の低下 ・行政が何をしているのかわからない。情報発信不足である。 ・あらゆる分野で人手不足が顕在化している ・資金不足である ・行政の主体的な行動が不足している ・行政、人、地域いずれも保守的である ・計画的なまちづくりが行われていない
求められている事項	○以下の中津川市に求められている事項が出された。 ・人口減少、少子高齢化対策が今後も必要 ・子育て支援をさらに強化すべき ・都市計画の見直しが必要 ・空き家対策が必要 ・市はそれぞれの地域の特徴を活かした活動のサポートを行うべき ・行政の積極的な支援が必要 ・リニアのまちづくりに関して精査が必要 ○団体単体ではなく、行政との連携による取組が求められている。